

## 積雪深キャリブレーション・データテーブル

製番

S E R I A L N o .

データ管理

プログラムNo.

信号処理

納入先

計測日 年 月 日

設置場所

計測者

計測基準データ							計測TESTデータ		
アドレス	計測基準データ			←00H	積雪値 [cm]	計測値 [cm]	計測位置周波数	モニター	
0 0 0 0	4	5	6	9	0				
0 0 0 3	5	4	0	3	2 0				
0 0 0 6	6	3	1	6	4 0				
0 0 0 9	7	2	8	4	6 0				
0 0 0 C	8	3	0	7	8 0				
0 0 0 F	9	3	9	6	1 0 0				
0 0 1 2	1	0	5	1	3	1 2 0			
0 0 1 5	1	1	6	7	1	1 4 0			
0 0 1 8	1	2	9	5	8	1 6 0			
0 0 1 B	1	4	3	5	2	1 8 0			
0 0 1 E	1	5	7	4	3	2 0 0			
0 0 2 1	1	7	3	2	9	2 2 0			
0 0 2 4	1	8	9	6	0	2 4 0			
0 0 2 7	2	0	7	2	3	2 6 0			
0 0 2 A	2	2	6	5	7	2 8 0			
0 0 2 D	2	4	7	2	7	3 0 0			
0 0 3 0	2	7	0	0	9	3 2 0			
0 0 3 3	2	9	3	8	8	3 4 0			
0 0 3 6	3	2	0	2	8	3 6 0			
0 0 3 9	3	4	8	4	9	3 8 0			
0 0 3 C	3	7	9	2	6	4 0 0			
0 0 3 F	4	1	2	8	8	4 2 0			
0 0 4 2	4	5	0	2	1	4 4 0			
0 0 4 5	4	9	1	5	9	4 6 0			
0 0 4 8	5	3	7	2	1	4 8 0			
0 0 4 B	5	8	8	8	9	5 0 0			
0 0 4 E	6	4	5	6	7	5 2 0			
0 0 5 1	7	1	0	1	4	5 4 0			
0 0 5 4	7	7	9	9	4	5 6 0			
0 0 5 7	8	5	9	9	6	5 8 0			
0 0 5 A			0	0		6 0 0			
0 0 5 D			0	0		6 2 0			
0 0 6 0			0	0		6 4 0			
0 0 6 3			0	0		6 6 0			
0 0 6 6			0	0		6 8 0			
0 0 6 9			0	0		7 0 0	センサー部測定 (P B - 5 3 7)		
0 0 6 C			0	0		7 2 0	C T 5	V	
0 0 6 F			0	0		7 4 0	C T 6	V	
0 0 7 2			0	0		7 6 0	C T 8	V	
0 0 7 5			0	0		7 8 0	C T 9	V	
0 0 7 8			0	0		8 0 0	C T 1 0	V	

初期値データテーブル

初期値データ項目	アドレス	データ ←00H	現地調整データ
角度補正值	0 4 0 0	1 0 : 0 0 : 0 0	
零点補正值	0 4 0 3	0 0 : 0 0 : 0 0	
V/f 補正データ	0 4 0 F	9 8 : 0 0 : 0 0	

# レンジジャラメータ・マトリックステーブル

製造番号	試験日	乾燥	湿潤(弱)	湿潤(強)	白紙
納入先	天候	正反射			
設置場所	温度	乱反射			

パラメータ	項目		乾燥	湿潤(弱)	湿潤(中)	湿潤(強)	凍結	積雪	圧雪	ハラメータ1	ハラメータ2
	上限	下限	0	1	2	3	4	5	6	7	8
正反射	上限	0									
	下限	1									
	制限値	2									
乱反射	上限	3									
	下限	4									
	制限値	5									
正乱比	上限	6									
	下限	7									
	路温	8									
	気温	9									

## その他 測定

測定点名	測定点	測定値	測定値(無信号時)	規格
AGC電圧(VSO)				
AGC基準電圧(VTO)				
車両検知レベル(RBO)				
車両検知用基準電圧				
正反射レベル(SSO)				
乱反射レベル(RAO)				

## 点検報告書

設置場所	○○観測局	点検年月日	平成	年	月	日	天候
		担当					

No	試験項目	基準値及び判定内容				点検結果			
1	構造点検	塗装及び錆の状態を点検し、傷、錆等がないことを確認する。 据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。 各部のコネクター及びネジの締め付け状態を確認する。							
2	電源電圧測定	耐雷変圧器	入力電圧	AC 200V ± 10% 以内					
			出力電圧	AC 100V ± 10% 以内					
		制御部	+ 5 DC	5 V ± 5% 以内		V			
			+ 12 DC	12 V ± 10% 以内		V			
			- 12 DC	- 12 V ± 10% 以内		V			
			+ 12 DC	12 V ± 10% 以内		V			
			+ 15 DC	15 V ± 10% 以内		V			
			- 15 DC	- 15 V ± 10% 以内		V			
		伝送部	AVR 1	+ 48 DC	48 V ± 10% 以内	V			
			AVR 2	- 48 DC	- 48 V ± 10% 以内	V			
		電池ユニット	蓄電池	6 V × 4個					
			充電電圧	26.7 ~ 27.5 V					
		凍結判定部	AVR 1	+ 5 DC	5 V ± 5% 以内	V			
			AVR 1	+ 15 DC	15 V ± 10% 以内	V			
			AVR 2	- 15 DC	- 15 V ± 10% 以内	V			
			P 25	DC	25 V ± 20% 以内	V			
			N 25	DC	- 25 V ± 20% 以内	V			
		積雪計	AVR	DC	5 V ± 5% 以内	V			
		降雪計		DC	12 V ± 10% 以内	V			
3	回線電流の測定	送信電流	20 ± 3 mA			mA			
		受信電流	20 ± 3 mA			mA			
4	動作試験 気温計	計測温度を基準温度計と比較して精度を確認する。 通気ファンの動作を確認する。							
		計測温度を基準放射温度計と比較して精度を確認する。 (基準温度(氷水 0°C)と比較して精度を確認する。)							
	路温計	疑似路面(白紙)により、検知状況を確認する。 路面に水を散布し、検知状況を確認する。							
		判定部の各基準値をモニターにて確認する。 (気温、路温、反射電圧)							
	路面センサー	模擬積雪面(白板)にて、積雪深計の精度を確認する。							
		測定器で受光レベルを確認する。 各基準判定レベルを確認する。							
	積雪深計	定量の水を入れ動作を確認する。							
		定量化動作を確認する。							
	降雪計	回転部分の動作を確認する。							
		受光部を塞ぎ、視程距離が大きくなることを確認する。							
5	総合動作試験	各計測機器で測定したデータを監視局に送出することを確認する。							
6	機器の清掃	各測定機器の測定面等を清掃する。 機構部分に注油する。							

点 檢 報 告 書

品 名	HL7 形表示機 (LED 式)	形 式			
設置場所					
担 当		点検年月日		天候	

No	点 檢 項 目	基 準 値 及 び 判 定 内 容	測 定 値	判 定
1	構造検査	取付・塗装 メッキ・配線		
2	電源電圧の測定	無負荷時定格電圧の±10%以内 1φ 3W 200／100V		
3	絶縁抵抗の測定	電源 500V メガーにて 10MΩ以上		
4	接地抵抗の測定	3種接地 100Ω以下		
5	制御電圧の測定	AVR1 DC 5V±5%以内 AVR2 DC 12V±10%以内		
6	表示ランプ供給 電圧の測定	AVR1 DC 3V±5%以内 AVR2 DC 3V±5%以内 AVR3 DC 3V±5%以内		
7	ランプテストの 確認	表示ランプが全点灯することを確認する。		
8	輝度切換の確認	自動、手動にて昼、夜間の切換を確認する。		
9	表示文字の確認	全表示項目及び表示パターンを確認する。 フリーパターン表示の確認をする。		
10	機側操作の確認	全表示項目を誤りなく表示する。		
11	遠方操作の確認	3項目を誤りなく表示する。		
12	筐体の清掃	ウエス等にて盤内外の清掃をする。		

点 檢 報 告 書

品 名	H L 7 形表示機副制御部	形 式			
設置場所		製 造 番 号			
担 当		点検年月日		天候	

No	点 檢 項 目	基 準 値 及 び 判 定 内 容	測 定 値	判 定
1	制御電圧の測定	A V R 1 +12 D C 12V ±10% 以内 -12 D C -12V ±10% 以内 P 12 D C 12V ±10% 以内 +5 D C 5V ± 5% 以内 P 24 D C 24V ±10% 以内  A V R 2 +12 D C 12V ±10% 以内 -12 D C -12V ±10% 以内		
2	電池電圧の測定	電池電圧 公称 6V × 4 個		
3	回線通話の確認	機側操作盤の電話機にて通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のないことを確認する。		
4	機能検査	停電時の動作 遠方制御項目を停電復帰時に誤りなく表示出来ること。 各ステータスの動作 ① 話中 ② 停電 ③ 故障 ④ 機側操作		
5	筐体の清掃	ウエス等にて盤内外の清掃をする。		

点 檢 報 告 書

品 名	気温表示板 (LED式)	形 式			
設置場所		製 造 番 号			
担 当		点検年月日		天候	

No	点 檢 項 目	基 準 値 及 び 判 定 内 容	測 定 値	判 定
1	構造検査	取付・塗装 メツキ・配線		
2	電源電圧の測定	無負荷時定格電圧の±10%以内 1φ 2W 100V		
3	絶縁抵抗の測定	電源 500V メガーにて 10MΩ以上		
4	制御電圧の測定	P20 D C 20V±10%以内		
5	調光動作の確認	自動にて表示輝度が変わることを確認する。		
6	機側操作試験	手動表示スイッチにて表示することを確認する。 -39~+39°C		
7	表示動作確認	現在の温度を確認し、表示することを確認する。 設定以下 (-2°C) にて点滅表示することを確認する。 内部のモニター表示も確認する。		
8	筐体の清掃	ウエス等にて盤内外の清掃をする。		

点 檢 報 告 書

品 名	電光式表示機	形 式		
		製 造 番 号		
担 当		点検年月日		天候

No	点 檢 項 目	基 準 値 及 び 判 定 内 容	測 定 値	判 定
1	構造検査	取付・塗装 メッキ・配線		
2	電源電圧の測定	無負荷時定格電圧の±10%以内 1φ 2W 200／100V		
3	絶縁抵抗の測定	電源 500V メガーにて 10MΩ以上		
4	接地抵抗の測定	第3種接地 100Ω以下（筐体）		
5	表示ランプ供給 電圧の測定	表示項目 【この先 スリップ注意】 昼間時 22～24V 夜間時 10～12V		
6	ランプテストの 確認	上半分（1～5 ブロック）表示ランプが全点灯する。 下半分（1～5 ブロック）表示ランプが全点灯する。		
7	輝度切換の確認	自動、手動にて昼、夜間の切換を確認する。		
8	表示文字の確認	全表示項目及び表示パターンを確認する。 フリーパターン表示の確認をする。		
9	機側操作の確認	全表示項目を誤りなく表示する。		
10	遠方操作の確認	3項目を誤りなく表示する。		
11	筐体の清掃	ウエス等にて盤内外の清掃をする。		

点 檢 報 告 書

品 名	電光式表示機副制御部	形 式			
設置場所		製 造 番 号			
担 当		点検年月日		天候	

No	点 檢 項 目	基 準 値 及 び 判 定 内 容	測 定 値	判 定
1	制御電圧の測定	AVR1 +12 DC 12V±10% 以内 -12 DC -12V±10% 以内 P12 DC 12V±10% 以内 +5 DC 5V±5% 以内 P24 DC 24V±10% 以内		
2	電池電圧の測定	電池電圧 公称 6V×4個		
3	回線通話の確認	機側操作盤の電話機にて通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障のないことを確認する。		
4	機能検査	停電時の動作 遠方制御項目を停電復帰時に誤りなく表示出来ること。 各ステータスの動作 ① 話中 ② 停電 ③ 故障 ④ 機側操作		
5	筐体の清掃	ウエス等にて盤内外の清掃をする。		

# 点検報告書

品 名	カメラ接続箱	型 式		
設置場所		製造番号		
担当者		試験年月日		天候

No.	点検項目	基準値及び判定内容			測定値	判定
1	構造検査	取付：コネクタの外れ、またネジの緩みがないこと。 塗装：塗装の傷、剥離がないこと。 メッキ：メッキに傷がないこと。 配線：配線に接続間違いがないこと。				
2	接地抵抗測定	接地端子	D種接地	100Ω以下	Ω	
3	絶縁抵抗測定	二次一括大地間	500Vメガーにて	10MΩ以上	MΩ	
4	電源電圧測定	外部入力端子	定格電圧の±10%以内	1φ2W100V	V	
		U P S 商用時	定格電圧の±10%以内	1φ2W100V	V	
		停電時	定格電圧の±10%以内	1φ2W100V	V	
5	総合動作試験	ライブ映像モニタ機能  Webカメラにアクセスし、ライブ映像のモニタできること。				
		カメラ制御機能  指定したカメラに対してパン・チルト・ズームの操作できること。				
		システム管理機能  カメラの登録、監視、制御などシステム管理できること。				
		画像変換・配信機能  カメラ映像をJPEG形式の静止画に変換しWebサーバに配信できること。				